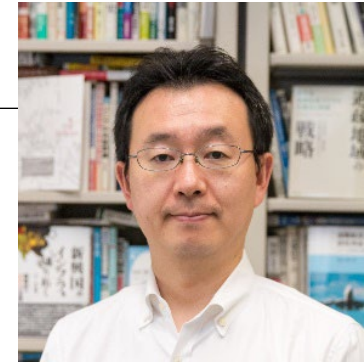


加藤 浩徳

東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授

2050年の日本を支える公共交通のあり方検討委員会

地域間交通小委員会 座長



<略歴>

1993年 東京大学工学部土木工学科卒業

1995年 東京大学大学院工学研究科土木工学専攻修了
東京大学大学院工学系研究科助手

1998年 財団法人運輸政策研究機構調査役

1999年 博士（工学）授与 [東京大学]

2000年 東京大学大学院工学系研究科専任講師

2004年 同助教授

2013年 同教授

2016年 日越大学社会基盤プログラム共同主幹を兼務 現在に至る

研究分野は交通計画，交通政策，交通経済学，交通経営で，最近は特に国際交通学，国際プロジェクト学に研究分野を展開． Outstanding Paper Award at the Emerald Literati Network Awards for Excellence，日本交通学会賞，米谷・佐佐木賞，アジア交通学会（EASTS） Best Paper Award，東京大学工学部ベストティーチングアワード等を受賞． 交通政策審議会や政策評価審議会の専門・臨時委員をはじめ，国内の官公庁や自治体の多数の委員会委員を務める． 国際関連機関の業務にも多く携わる． 国内外での講演多数． 国際学術誌であるAsian Transport Studies誌の編集長なども務める．